



やさしいところ (思いやり Caring)

正直なところ (誠実さ Honesty)

がんばるところ (責任感 Responsibility)

大切に思うところ (尊敬心 Respect)

2018年1月1日
 幼保連携型認定こども園
 YMCA 保育園

1月えんだより

1月の聖句： 「見よ、わたしはあなたと共にいる。」 創世記 第28章15節

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いします。年末年始は、いかがお過ごしでしたでしょうか？お仕事の方もたくさんおられたかと思います。寒い冬になりました。お体にはくれぐれもお気をつけいただき、新年をスタートしていきましょう。

さて、何も話せなかった赤ちゃんが、言葉というツールを獲得して、気持ちや考えを伝えることができるのは2年や3年ではできません。見て、聞いて、話して、失敗を繰り返しながら覚えていきますが、大人の私は、今でも正しい言葉が使えているのか甚だ疑問や不安を覚えます。思い通りにならないことや思わぬ出来事に遭いますと、孤独で不安に陥るのは何も子どもだけではありません。又、後ろめたい出来事を背負った時にはなおさらそうなるでしょう。

今月は、ヤコブという少年の話です。彼は、親の言うとおりに過ごしてきました。親も「あなたは私の言うとおりにしていればいいの」といって育ててきました。しかし、家族を欺き兄弟の迫害にあい、家や街を追われて逃げていましたが、八方塞になって行き着いた土地で、彼は神の約束を聞いたのです。

「見よ、私はあなたと共にいる」と。このあとには「どこにいてもあなたを守り」「あなたを決して見捨てない」と言う言葉が続いたのでありました。家族を欺いた罪を背負う自分に神様が「共にいる」と約束してくださったことは嬉しいというよりも恐れおののくといった感情だったことでしょう。

子どもが育ち、子どもを育み、守るためにとても大切なキーワードがここにあります。「どんな状況になってもあなたとは共にいるよ。」「どこに行っても守るよ。」「そして決して見捨てたりしないよ。」この力強いメッセージが子どもの心を動かすのであります。「もう知らないよ」と脅してみても、これは一時的なことです。難しいですね。自分が不安に苛まれる時に、見捨てずに、共にいてくれる、守ってくれる存在、これは何も親や指導者だけではありません、そうした大人が居てくれることが、子どもが育つ土壌や文化をつくるのであろうと思うのです。「共にいる」こと、これが自立へのエネルギーになると信じて新年をはじめていきたいと考えます。

1月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	できたよ	取り組む
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> * 手や指を十分に使って遊ぶ。 * 自分でできるという気持ちや、したいという意欲をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> * 神様が与えてくださっている賜物を互いに生かして生活する。 * 健康に過ごすための生活習慣を身につける。 * 友だちと思いや考えを伝え合いながら遊びを深める
讃美歌	つくしのように 幼児讃美歌 58	やさしい目が こども改 114